自動車リサイクルに貢献する全国ネットワーク

NGP

社会・環境報告書
2015

Social and Environmental Report

社会的価値の高い企業集団をめざして

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合

組合員名簿 (2015.10)

会社名	地域	TEL
北海道		
㈱辻商会	旭川市	0166-47-2771
㈲まるふく八田商会	上川郡	0165-34-2457
㈱アシスト・フクダ	函館市	0138-48-2000
㈲プロス	江別市	011-380-2633
㈱ピークル	苫小牧市	0144-51-8008
㈱ケーエー車輌	北広島市	011-377-5577
㈱空知オートパーツ	赤平市	0125-34-4100
㈲オカダオートパーツ	河西郡	0155-62-6833
㈱マテックＥＬＶ石狩	石狩市	0133-60-4828
㈱エルバ北海道	帯広市	0155-38-8011
釧路オートリサイクル㈱	釧路郡	0154-64-1171
㈱ボールド	北見市	0157-66-5775
㈱ライズコーポレーション	札幌市	011-802-2121
㈱南商会	札幌市	011-882-1770
東北		
青森県		
㈲近田商事	三戸郡	0178-62-5471
㈲むつパーツ	むつ市	0175-22-1021
㈱清南商事弘前支店アルトレック青森	青森市	0172-69-1199
㈱清南商事八戸支店アルトレック八戸	八戸市	0178-28-8727
㈱エコブリッジ	八戸市	0178-73-1117
秋田県		
㈲サン・アール	由利本荘市	0184-22-5740
㈱現代	鹿角郡	0186-29-3990
岩手県		
㈲三陸パーツセンター	下閉伊郡	0193-81-1155
㈱清南商事盛岡支店アルトレック矢巾	紫波郡	019-698-3399
山形県		
㈱永田プロダクツ	酒田市	0234-43-1272
㈱清南商事酒田支店アルトレック酒田	酒田市	0234-35-0120
宮城県		
㈱西武オートパーツ	大崎市	0229-23-3071
㈲大友自動車工業	名取市	022-386-2461
㈱アイエス総合	登米市	0220-21-5153
㈱清南商事仙台支店アルトレック塩竈	塩竈市	022-361-6669
福島県		
㈱福島リパーツ	郡山市	024-946-1180
㈲安澤商店	西白河郡	0248-27-1736
㈲富山商会金屋工場	郡山市	024-944-1280
㈱オートセンターＮＡＯ	大沼郡	0242-55-1055
㈱ナプロアース	伊達市	024-573-8091
㈲カンジ自動車商会	福島市	024-555-5131
㈱デック	いわき市	0246-47-1521
㈲榎並商会	郡山市	024-944-4100
北関東		
茨城県		
㈱茨城オートパーツセンター	小美玉市	0299-48-1398
㈲田崎商店	結城市	0296-32-1893
ユーパーツ水戸店	水戸市	029-226-4261
栃木県		
㈱栃木パーツ	佐野市	0283-23-3256
オートパーツ・イワイ(㈲岩井自動車商会)	宇都宮市	028-662-2287
㈲しのぶや　みどり工房	那須郡	0287-74-3077
ユーパーツ宇都宮店	宇都宮市	028-649-5967
群馬県		
㈱拓殖商会	伊勢崎市	0270-76-3683
カースチール㈱	前橋市	027-251-6365
ユーパーツ前橋店	前橋市	0272-55-5651
カースチール㈱ 東毛営業所	太田市	0276-56-6411
新潟県		
㈲佐藤商事	村上市	0254-62-2178
㈱共伸商会	新潟市	025-386-1555
㈲黒埼部品	新潟市	025-377-2410
リ・パーツ㈱坂井自動車	新潟市	0250-61-0501
エコリサイクル共伸生産工場	新潟市	025-255-3055
埼玉県		
㈱ユーパーツ	熊谷市	048-524-0610
㈱３Ｒ	久喜市	0480-26-3559
㈱ＣＲＳ埼玉	川越市	049-228-5111
メタルリサイクル㈱パーツセンター	比企郡	049-299-2733
ユーパーツ大宮店	さいたま市	048-652-0505
ユーパーツ熊谷店	熊谷市	048-528-7641
南関東		
東京都		
㈲オートパーツ片岡	西多摩郡	042-556-2735
三協自動車㈱	調布市	03-3300-0685
㈱ユピック	大田区	03-3736-0431
ユーパーツ八王子店	八王子市	0426-37-5580
ユーパーツ足立店	足立区	03-5845-1371
ユーパーツ練馬店	練馬区	03-3904-1890
千葉県		
㈲オートパーツ千葉	匝瑳市	0479-73-0830
㈱トキオ	佐倉市	043-498-2461
㈲オートサービス東関	千葉市	043-257-9449
㈲リサイクルガレージケーワン	船橋市	047-457-5758
㈲ベストパーツ	市原市	0436-24-4182
ユーパーツ千葉店	千葉市	043-223-6423
メタルリサイクル㈱千葉パーツセンター	柏市	04-7190-0980
神奈川県		
㈱大橋商店	横浜市	045-761-6551
㈱オートパーツ神奈川	厚木市	046-220-1441
㈱ユーアンドアイ	横浜市	045-921-4479
㈲トライアル	横浜市	045-595-3035
㈱杉之間	小田原市	0465-46-1082
㈲西山自動車商会	平塚市	0463-32-5852
山梨県		
㈱テラダパーツ甲府営業所	中巨摩郡	055-287-7761
静岡県		
㈱ヤタパーツ	沼津市	055-921-9678
㈱マルトシ青木	藤枝市	054-644-5656
太田部品㈱	御殿場市	0550-89-5110
㈱コーエイ	浜松市	053-462-1128
オレンジパーツ平成	静岡市	054-253-5646
㈱アンドーカーパーツ	下田市	0558-28-0939
東海		
長野県		
㈲小諸パーツセンター	小諸市	0267-23-7588
㈱アートパーツ長野	松本市	0263-40-2100
㈱ハセ川自動車長野営業所	中野市	0269-24-7124
㈱テラダパーツイイダ	下伊那郡	0265-34-1522
㈱テラダパーツ諏訪営業所	諏訪郡	0266-78-3538
岐阜県		
ＫＭＩ㈱	養老郡	0584-36-0022
エコパーツ岐阜㈱	可児市	0574-62-2328
㈲山一商店高山営業所	高山市	0577-35-5963
エコパーツ岐阜㈱ 岐阜店	本巣郡	058-372-3260
愛知県		
㈲名古屋解体メイカイパーツ	名古屋市	052-736-4741
㈱コマゼン	弥富市	0567-68-4182
㈱テラダパーツ	刈谷市	0566-22-3709
㈱吉田商会	豊橋市	0532-53-3907
㈲佐竹自動車部品	豊田市	0565-52-0015
アーク㈱	清須市	052-401-7377
㈲サイトウパーツ	豊川市	0533-86-2408
㈲川原商会	一宮市	0586-62-1757
㈲ジーパーツ	知多郡	0569-74-1007
㈱ワープ	岡崎市	0564-27-7022
ユーパーツ名古屋店	名古屋市	052-243-9800
㈱テラダパーツ半田営業所	半田市	0569-25-0045
三重県		
㈲オートパーツまるも	四日市市	059-329-3987
㈲富士クラッチ工業所	四日市市	059-325-6623
北陸		
富山県		
㈱ハセ川自動車	滑川市	076-477-7111
㈲山一商店	小矢部市	0766-67-2721
㈲堀川自動車商会	氷見市	0766-74-3022
石川県		
㈲ツクダ自動車	白山市	076-276-1593
㈱金沢ヨコイ部品	金沢市	076-239-4510
㈱リベア	七尾市	0767-57-2114
㈲メタルオート北陸	小松市	0761-21-0168
福井県		
㈲サンシャインネットパーツ	福井市	0776-57-1236
㈱ナカスジオートパーツ	坂井市	0776-51-3253
津田鋼業㈱	越前市	0778-43-1701
関西		
滋賀県		
㈱カンザキ	東近江市	0748-22-1389
京都府		
㈱エコパーツ京都	八幡市	075-983-9991
㈱ラ・テール	京都市	075-681-3431
㈱金子商会	舞鶴市	0773-82-0130
大阪府		
ラップス	藤井寺市	0729-37-0268
吉村エコパーツ	羽曳野市	072-958-3454
㈱多田自動車商会大阪営業所	大阪市	06-6682-8861
兵庫県		
㈱多田自動車商会	三木市	0794-83-0162
㈱堀尾自動車部品	姫路市	079-298-4650
㈱桜井	尼崎市	06-6414-2222
和歌山県		
㈱草山パーツ	和歌山市	073-477-0532
㈱紀南パーツ	日高郡	0739-84-2222
中四国		
岡山県		
クレストパーツ (㈱中村解体)	倉敷市	086-446-2041
㈱桃太郎部品	岡山市	086-241-5678
岡崎車輌部品㈱	瀬戸内市	0869-66-8511
ウエイクパーツ㈲和気商店	岡山市	086-243-6059
広島県		
㈱福山セコ	福山市	084-953-3201
エコテクノ㈱	山県郡	0826-72-0333
㈱エビス	安芸郡	082-884-1111
山口県		
㈱オートパーツ幸城	宇部市	0836-44-2412
鳥取県		
㈲東和	東伯郡	0858-52-2998
㈲西川商会	鳥取市	0857-28-9011
島根県		
㈲山陰ＵＰ販売	安来市	0854-23-2466
㈱山陰エコ・リサイクル	松江市	0852-72-9301
島根オートリサイクルセンター	出雲市	0853-48-2605
香川県		
㈱佐伯商会	高松市	087-840-3133
愛媛県		
㈱予洲商事	今治市	0898-32-0384
㈲オートパーツ新居浜	新居浜市	0897-67-1577
徳島県		
徳島オートパーツ㈲	板野郡	088-672-7773
㈲青木興業	小松島市	0885-32-1875
高知県		
㈲みうら	高知市	088-833-2072
㈲國寅商店	四万十市	0880-35-6181
九州		
福岡県		
㈱グッパー福岡	大野城市	092-503-5099
㈲イノクチ	筑後市	0942-53-7617
㈱マグフクオカ	福岡市	092-477-8103
㈱エイ・ティ・エム	京都郡	093-435-2082
大成自動車㈲	粕屋郡	092-623-7000
WARC西日本オートリサイクル㈱	北九州市	093-752-3270
㈲オートリサイクルナカシマ福岡	筑紫野市	092-926-6298
長崎県		
㈱パーツライン	佐世保市	0956-33-1532
㈱アール・トーヨー	長崎市	095-884-2781
大分県		
㈱オートリサイクルナカシマ	日田市	0973-23-0327
オートパルス ニホウ	宇佐市	0978-34-0034
熊本県		
㈱パーツランド東部	合志市	096-248-2333
㈱オートパーツ伊地知熊本営業所	熊本市	096-364-0238
宮崎県		
㈲ユーピー宮崎	北諸県郡	0986-52-7054
鹿児島県		
㈱オートパーツ伊地知	鹿児島市	099-267-0468
㈲鹿児島パーツ	南九州市	0993-56-1066
㈲タバタ商会	鹿屋市	0994-43-2068

2015年10月26日発行

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合 環境委員会

〒108-0074　東京都港区高輪3丁目25番33号　長田ビル2F
TEL:03-5475-1208　FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp/

NSF-ISR Registered to ISO 9001 and ISO 14001

ANAB ACCREDITED MANAGEMENT SYSTEMS CERTIFICATION BODY

GPN Green Purchasing Network ©
NGPはグリーン購入ネットワークの会員です

この印刷物はエコマーク認定の100%再生を使用し、大豆油インキで印刷されています。

次世代ＮＧＰへ「創造開来」構想の実現と社会貢献性を高める行動革新へチャレンジします

平素より弊組合への格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本年、2005 年 1 月自動車リサイクル法施行後 10 年が経過し、5 年毎の自リ法見直しが産業構造審議会を中心とした合同会議体にて制度の評価・検討について議論がなされました。

法制定当初の目的である不法投棄等の防止・ＡＳＲの最終処分量の極小化は概ね図られているとしつつ、自動車における３Ｒの推進・質の向上・自動車リサイクル法制度の安定的な運用では、今後の在るべき姿の方向性についての整理案が経済産業・環境両省より公表されました。

この整理案では、自動車の精緻な解体・分別のモデル事業やリサイクル部品の規格化を通じた普及促進のほか、次世代自動車や新素材への対応の必要性など具体的な方向性を明示しています。

弊組合では、これらを受け「カーユーザー様、自動車整備事業者様､損害保険会社様」の大切なお客様に、自動車リサイクル法の適法処理はもとより安心・安全なリサイクル部品の供給に、更なる精進をお誓い申し上げる次第であります。

前述の自動車の精緻な解体、リサイクル部品の規格化、次世代自動車への対応は、東日本自動車解体協同組合との合同会議、ＥＬＶ機構リユース部品規格化研究会の参加、スキャンツール全組合員導入の具体的施策に取組み中でありますが、より一層の努力と前進を図り、リサイクル業界の発展に寄与したいと考えております。

近年世界における自然災害は、大型台風の上陸や爆弾低気圧による集中豪雨や大規模な土石流、竜巻、地震、活火山の噴火が続発し、多くの方々が被災に遭われていることは心が痛むところであります。

国内では直近平成 27 年 9 月 10 日の台風 18 号により、関東・東北地区での集中豪雨、堤防決壊による大洪水被害が発生し、多くの方々が被害に遭われましたこと、心よりお見舞いを申し上げるところであります。

弊組合では、9 月 14 日に救援対策本部を立ち上げ、被災地区である常総市内、小山市内に車両ヤードを設置し、水没による全損車両の救援引上げ作業を行っております。10 月 10 日現在の車両引上げ台数は、既に 1200 台を超える状態となってます。

引上げ作業に向う道中に家屋損壊、床上浸水の悲惨な状況を目の当たりにし、あらためて地球温暖化防止及び地球環境保護の重要性を痛感させられております。

従来よりＮＧＰでは、自動車リサイクル事業を通じて地球環境保護に貢献する重要な社会的使命を負っているものと自覚し、自動車解体作業の適切処理はもとよりリサイクル部品利用促進による地球温暖化 CO_2 削減の啓蒙活動に取組んでおります。

来期の新理事長体制では､基本テーマを「創造開来」と定め､「自動車リサイクル事業の発展」と「地球を守り、子供たちへの明るい未来を届ける」ことでの成長を実現してまいります。

自動車リサイクル部品産学共同研究、ＮＧＰベルマーク運動、交通遺児育英支援募金「あしながおじさん募金」に継続して取り組み、社会貢献性をより高める組合活動を目指してまいります｡弊組合員各社は、お客様に選ばれる最優の会社を目指し、同時に地域社会に貢献してまいります。

引き続き皆様からの一層のご愛顧とご支援を頂きますようお願い申し上げます。

NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合

理事長　長谷川利彦

基本理念

これからも環境リサイクル時代の社会貢献活動に取り組みます

NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合の前身である NGP グループは 1985 年（昭和 60 年）に結成され、2004 年には国内唯一の経済産業大臣認可の事業協同組合として組織を法人化いたしました。

環境問題や資源問題に対する意識が全世界規模で高まる昨今、国内でも産業の裾野が広い自動車業界では、特に積極的な対応が求められています。

また 2005 年からは、自動車リサイクル法が完全施行となり、法令遵守、使用済自動車の適正処理が義務付けとなりました。

このような時代背景から、NGP グループではこれまで、従来のリサイクル部品共有在庫ネットワークの運営を行うとともに、使用済み自動車適正処理ネットワークとして全会員参加によるエコ推進運動の展開、損害保険会社・リース会社等の全損車輌取引マニュアルを作成し、その適正処理を遵守した業務や自動車リサイクル法等の新たな制度説明会などの組織的活動を展開してまいりました。

さらに前述のとおり組織を法人化することで急激に進む環境保全への迅速な対応、専門性を追求する役割に対して NGP 協同組合の組合員が果たすべき使命を全うできるような体制が整いました。

NGP 協同組合はこれからも、リサイクル部品の規格統一化、技術教育、啓蒙活動など、環境リサイクル時代の社会貢献活動を NGP 協同組合組織活動の主課題として全力で取り組んで行きます。

NGP グループ 21 世紀宣言

一、我々は、使用済み車輌を適正に処理します

一、我々は、自動車リサイクル部品を全面的に啓蒙します

我々ＮＧＰグループは、リサイクル部品流通業界のリーダーとして一人ひとりが責任を持ち、21 世紀の社会に貢献していくことを誓います。2005 年施行の自動車リサイクル法に合わせ、地域社会に信頼され、存在価値のあるグループを目指します。

行動指針

① 環境保全活動を当グループの最重要課題と位置づけ、グループ全従業員の共通認識とします。

② 環境に関する法律、規制、自動車リサイクル法等を遵守し環境保全に取り組みます。

③ 環境負荷低減のため、環境目的・環境目標を定め、定期的に見直しを行うことにより、継続的な改善を図ります。

④ 工場内における解体作業については、適正かつ効率的なリサイクルが行われるよう解体技術の向上に努めます。また、同時に廃車車輌の全てにマニフェスト発行による管理を徹底します。

⑤ 設備の稼動については通常時のみならず、非通常時においても廃棄物の漏残、飛散等の未然防止、及び騒音の削減等の地域環境保全に努めます。

⑥ 事業活動全般に関して大気汚染、土壌汚染、水質汚染、悪臭の防止に努めます。

⑦ グリーン購入法に基づき、使用物品等を見直し、再生紙などの利用促進をするとともに、電気・水道水等のエネルギー消費の低減に取り組みます。

⑧ 定例ブロック会議を通して本方針を全グループ企業に周知します。

社会・環境報告書 2015
Contents

トップメッセージ

NGP のマネジメント
- コーポレートガバナンスと内部統制 …… 4
- NGP 組織の体制強化・人材育成のための研修会を開催 …… 4

安心と信頼に向けて
- 自動車リサイクルの適正処理 …… 6
- 本年度使用済自動車の適正処理実績 …… 6
- 自動車リサイクル部品の生産・販売 …… 7
- 品質管理の仕組み …… 8
- リユース部品の品質保証 …… 8
- 新ブランド「NGP パーツ王」 …… 8
- すべての組合員企業が「スキャンツール」を導入しました …… 9
- 本年度リサイクル部品の生産・販売実績 …… 9

環境への配慮
- NGPの環境マネジメント …… 10
- 全組合員 ISO14001 取得に向けて …… 10
- 環境エコバランスデータ …… 11
- リターナブル梱包材による物流の環境貢献 12
- 自動車リサイクル部品の環境負荷低減効果の研究 …… 13

地域社会貢献の推進
- 日本最大級の環境展エコプロダクツ 2014 ……14
- 東京都足立区「地域環境フェア 2015」に出展 15
- NGPのベルマーク運動 …… 15

組合員名簿

本報告書の概要

■編集方針

本報告書は NGP の社会的・環境的活動報告と取組み成果をステークホルダー（お客様・取引先・地域社会・従業員など）の皆様にご案内して、コミュニケーションを図り、取組みのさらなる向上をめざすことを目的に発行しています。本報告書では主要課題（事業を通じた価値の提供・資源リサイクル・地球温暖化防止対策）を優先的にご報告しています。

■本報告書の対象範囲

●対象期間
2014 年度（2014 年 9 月～ 2015 年 8 月）の取組みを中心に報告しています。
●対象範囲
NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合および組合員企業

NGPのマネジメント

基本理念を実現するために、経営の仕組みや組織体制の整備を図っています。
充実した経営基盤のもと、事業活動を通してさらに信頼される協同組合をめざしています。

コーポレートガバナンスと内部統制

NGPは事業の継続的な発展と企業価値の向上に向けたガバナンスの確立に取り組み、さまざまなステークホルダー（利害関係を有する方々）に向け、社会課題に対応するため、内部統制の仕組みを整備して、健全性・効率性・透明性の高い経営を実践していきます。基本理念・行動指針制定に則り、理事長を首長として支部担当理事が全員執行部となり、組合の課題について、毎月1回以上の定例会を開催しています。

経営環境の変化に的確に対応し、グループ経営の強化により企業価値を向上させることがコーポレートガバナンスの基本であると考えています。

NGPの事業活動は多くのステークホルダーの皆様に支えられて進められています。私たちの理念を果たすためには、それぞれのステークホルダーの皆様へ説明責任を明らかにするとともに、日頃よりさまざまな方法で皆様のご意見・ご要望をお聞きして、経営目標に反映させています。

職務の執行にあたり、関連法令ならびに組合定款基本理念、行動指針、品質・環境マネジメント、コンプライアンス規制および組合規定、規約を遵守するものとし、これを確保するための体制を整備しています。

コンプライアンス

社会から信頼・共感されるための基盤はコンプライアンスが事業活動の原則です。コンプライアンス意識向上に努めるとともに、ステークホルダーの期待に応えるためにリスク管理の体制強化を進めています。NGP基本理念に基づき、法令遵守はもとより社会規範・企業倫理に則って誠実に行動することとしています。そのため組合員企業の組織風土を継続的に改革するとともに、不正防止、責任体制の確立に取り組んでいます。

NGPのコンプライアンス規制は、新人教育、研修会、委員会などあらゆる機会を通じて徹底を図っています。

NGP組織の体制強化・人材育成のための研修会を開催

BumB東京スポーツ文化館

9月（平成26年）**第23回初級営業マン研修会**
営業マンとしての心構えと基本マナー研修
9月（平成26年）**第7回初級生産管理者・フロントマン研修会**
商品規格、品質規格の基礎知識を学習
2月　第8回初級生産管理者・フロントマン研修会

6月　第26回基礎研修会
全国の新入社員を対象とした新人研修
7月　第2回管理者研修会

8月　第28回経営者研修会
組合員経営者として精神を養う

リスクマネジメント

事業活動を遂行するうえで経営に重大な影響を与える危機を予防し、事業構造・環境変化などのリスク管理体制を構築し、危機の予防と発生時の被害軽減などを重点に置いて取り組みをしています。

重大な事故・事件、問題の発生により NGP が大きな損失を被るか、または NGP の事業活動が原因で、社会に影響を及ぼしかねないと予測される事態に対しては理事長をトップとする緊急対策本部を設置し、関連機関と連携して対応します。

■主なステークホルダーとのかかわり

お客様

商品・サービスへの信頼

主な責任

- お客様満足の向上
- 安心・安全な製品とサービスの提供
- お客様への適切な対応とサポート
- 製品情報の適切な提供
- 個人情報の適正管理

組合員

商品・サービスの提供

主な責任

- 企業価値の維持・増大
- 適時・適切な情報開示
- 社会的責任への対応

取引先

公平・公正な取引関係

主な責任

- 公正な取引
- 調達取引の公平な選定
- オープンな取引機会

従業員

人材育成・職場環境整備

主な責任

- 人権の尊重
- 人材育成と活用
- 公正な評価・処遇
- 職場での安全衛生と健康管理
- 個人情報の保護

地域・社会

地域連携・社会貢献

主な責任

- 環境への配慮
- 地域社会への貢献活動
- 事業所での事故・災害防止

行政・関係機関

**適正な情報開示と
コミュニケーション**

主な責任

- 法令の遵守
- 社会問題の改善･解決への協力

あいおいニッセイ同和自動車研究所 東富士センター

10月（平成26年）第26回中級研修会
3月　第27回中級研修会
専門業務・技術研修・リーダーシップとマネジメント研修

5月　第18回ハイブリッドカーセミナー
労働安全基準に伴う低圧電気取扱特別講習

出張研修会

5月　フロントマンSTEP UP研修（北海道札幌市）
フロントの役割と接客対応・目標管理と業務技術研修
6月　フロントマンSTEP UP研修（NGP本部）
7月　フロントマンSTEP UP研修（兵庫県尼崎市）
フロントマンSTEP UP研修（愛知県名古屋市）
8月　フロントマンSTEP UP研修（福井県越前市）

安心と信頼に向けて

廃車の適正処理と高品質なリサイクル部品を生産することで信頼性を高め、循環型社会に貢献しています。

自動車リサイクルの適正処理

自動車リサイクルを推進して循環型社会形成を目指します

全国で年間約 340 万台の使用済自動車が廃車になっています。これを一台 1t の廃棄物で計算すると約 340 万 t になり、全国の年間産業廃棄物量約 7,000 万 t の 5%を占め、廃車はリサイクルされないと大量な廃棄物として大きな社会問題となります。以前に自動車の不法投棄・不適正処理が環境問題化したこともあり、それを防止するフロン類・エアバック類の処理や資源を回収目的で法制化されたのが「自動車リサイクル法」（2005 年施行）です。この法律により自動車の所有者・引取事業者・メーカー・輸入業者の各々が廃車の適正処理と管理に責任を持つことになり、私たち自動車リサイクル事業者の役割はますます重要になりました。

本年度 (2014 年度) 使用済自動車の適正処理実績

支部	使用済自動車処理台数（台）				
	上期	下期	合計	前年	前年比%
北海道	22,492	25,178	47,670	47,916	99.5
東　北	48,573	57,152	105,725	119,582	88.4
北関東	50,519	56,402	106,921	118,437	90.3
南関東	27,048	31,511	58,559	61,401	95.4
北　陸	21,545	23,534	45,079	48,457	93.0
東　海	33,476	39,090	72,566	77,941	93.1
関　西	25,634	33,684	59,318	58,651	101.1
中四国	49,951	55,375	105,326	106,955	98.5
九　州	26,995	30,441	57,436	60,321	95.2
合　計	306,233	352,367	658,600	699,661	94.1

支部	フロンガス回収処理（kg）				
	上期	下期	合計	前年	前年比%
北海道	5,223	5,407	10,630	11,573	91.9
東　北	9,671	10,984	20,655	20,852	99.1
北関東	12,697	14,737	27,434	30,246	90.7
南関東	7,479	8,736	16,215	16,168	100.3
北　陸	5,638	7,143	12,781	11,793	108.4
東　海	8,592	9,342	17,934	18,254	98.2
関　西	11,463	15,242	26,705	19,140	139.5
中四国	11,416	13,504	24,920	26,767	93.1
九　州	6,472	6,798	13,270	14,214	93.4
合　計	78,651	91,893	170,544	169,007	100.9

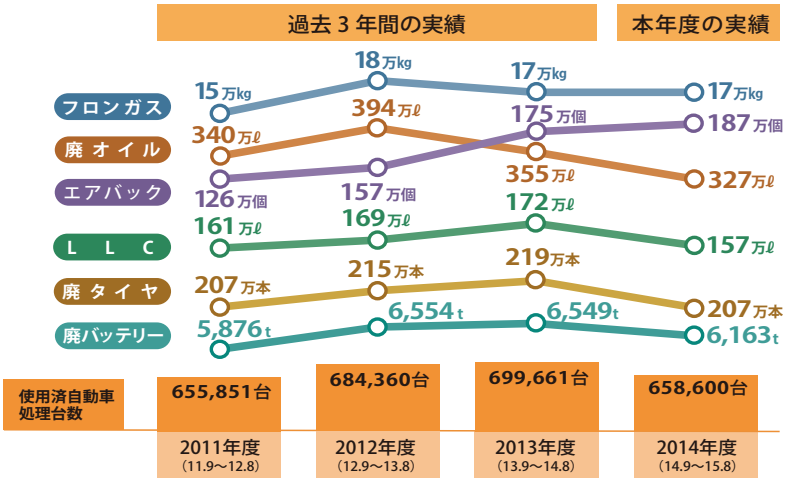
支部	廃オイル回収処理（ℓ）				
	上期	下期	合計	前年	前年比%
北海道	109,009	119,098	228,107	247,456	92.2
東　北	269,610	295,232	564,842	669,100	84.4
北関東	249,978	271,562	521,540	594,836	87.7
南関東	101,135	133,047	234,182	215,992	108.4
北　陸	113,711	126,740	240,451	261,330	92.0
東　海	134,029	156,668	290,697	334,837	86.8
関　西	108,950	132,950	241,900	226,010	107.0
中四国	319,952	366,031	685,983	701,932	97.7
九　州	129,005	140,302	269,307	294,522	91.4
合　計	1,535,379	1,741,630	3,277,009	3,546,015	92.4

支部	LLC 回収処理（ℓ）				
	上期	下期	合計	前年	前年比%
北海道	67,887	69,756	137,643	145,765	94.4
東　北	145,996	132,238	278,234	303,156	91.8
北関東	154,171	152,648	306,819	390,577	78.6
南関東	79,507	91,821	171,328	186,899	91.7
北　陸	38,690	42,910	81,600	98,570	82.8
東　海	71,105	81,008	152,113	156,316	97.3
関　西	65,890	90,080	155,970	126,180	123.6
中四国	88,548	109,986	198,534	213,491	93.0
九　州	43,919	49,310	93,229	98,386	94.8
合　計	755,713	819,757	1,575,470	1,719,340	91.6

支部	エアバック展開・回収処理（個）				
	上期	下期	合計	前年	前年比%
北海道	55,232	66,055	121,287	117,279	103.4
東　北	120,471	160,865	281,336	255,509	110.1
北関東	152,087	174,371	326,458	321,736	101.5
南関東	80,956	94,696	175,652	169,933	103.4
北　陸	54,777	80,565	135,342	120,127	112.7
東　海	86,711	116,357	203,068	187,923	108.1
関　西	75,692	103,715	179,407	164,136	109.3
中四国	131,273	155,603	286,876	264,379	108.5
九　州	70,614	86,773	157,387	147,196	106.9
合　計	827,813	1,039,000	1,866,813	1,748,218	106.8

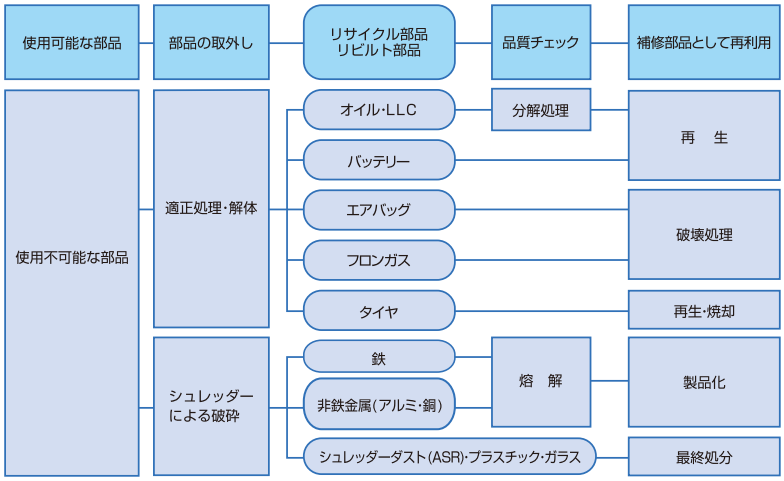
支部	廃タイヤ処理（本）				
	上期	下期	合計	前年	前年比%
北海道	88,428	78,426	166,854	194,498	85.8
東　北	137,953	165,233	303,186	328,309	92.3
北関東	172,881	188,706	361,587	387,587	93.3
南関東	86,589	104,958	191,547	200,868	95.4
北　陸	69,838	66,800	136,638	163,677	83.5
東　海	68,228	82,938	151,166	150,814	100.2
関　西	80,103	90,445	170,548	171,914	99.2
中四国	190,796	216,820	407,616	405,484	100.5
九　州	87,418	93,104	180,522	187,828	96.1
合　計	982,234	1,087,430	2,069,664	2,190,979	94.5

支部	廃バッテリー処理（kg）				
	上期	下期	合計	前年	前年比%
北海道	205,341	215,830	421,171	466,481	90.3
東　北	461,962	436,534	898,496	1,027,251	87.5
北関東	492,456	532,512	1,024,968	1,124,539	91.1
南関東	239,610	288,922	528,532	494,844	106.8
北　陸	208,803	264,542	473,345	475,472	99.6
東　海	369,768	451,001	820,769	843,287	97.3
関　西	254,291	266,423	520,714	551,801	94.4
中四国	445,688	648,407	1,094,095	1,104,074	99.1
九　州	160,775	221,210	381,985	460,900	82.9
合　計	2,838,694	3,325,381	6,164,075	6,548,649	94.1



適正処理の流れは最初に燃料（ガソリンなど）、エンジンオイルなどの油類、ラジエターの冷却水（LLC）、カーエアコンの冷媒ガスを抜き取り、エアバックの展開処理後、解体され利用可能な部品を取り外し、残った車両本体部分はプレスで塊にしてシュレッダーにかけ、再資源化を図ります。自動車は鉄・アルミなどの有用な金属が車両の約 70%を占め、車両総重量の約 95%は資源として再利用されています。

■使用済自動車リサイクルフロー



NGP では使用済み自動車の適正処理を実施する全国ネットワークとして、電子マニフェスト（移動報告）による車両管理を徹底しています。

自動車リサイクル部品の生産・販売

生産技術の情報共有化による品質向上

良質なリサイクル部品を安価にお届けするために、たゆまない努力と探究心で部品生産をしています。自動車業界はハイブリッドカーの普及、電気自動車の開発など大きな変化が進んでいます。自動車の技術進歩から自動車部品も複数の素材が複雑な構造の中で使用され、部品の生産、異物の除去、資源の区分けなどリサイクル率を左右する専門性の高い技術が必要になっています。そのためリサイクル技術向上に役に立つ「共有情報の電子化」を標準化して、リサイクル部品の生産・販売に必要な技術情報を組合員ネットワーク「NGP システム」に蓄積し、個別車種・個別部品の取扱いにも対応できる情報を全組合員に開示しています。

これにより商品クレームも一元管理され、製品の安全性・信頼性を大きく高めています。また、このシステムは組合員企業の熟練技術者の知識やノウハウを、データベースに蓄積して NGP 全体のリサイクル技術のレベルアップも図っています。

NGP リユース部品は「ISO の国際的な品質規格」と「NGP 商品化登録基準」に沿って商品化しています。商品化した部品はそれぞれ個別の詳細な商品情報とともに「NGP システム」に登録されます。この商品情報を共有情報として全組合員が管理することで、ユーザーの安心と信頼を提供しています。

品質管理の仕組み

ISO 認証取得による品質向上の取り組み

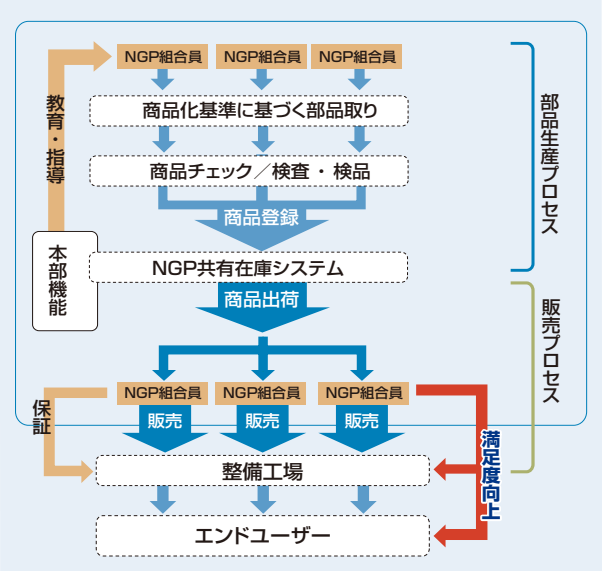
NGP は発足以来リユース部品を安心して利用していただくためにグループ内で厳正な品質基準を設け、適正な製品だけを共有在庫として取り扱い、市場に供給する努力をしてきました。

さらにリユース部品を「世界基準」で提供することをめざす ISO9001 を認証取得。本部が運営する共有在庫システムを軸に組合員の部品生産・登録までの全プロセスを一括してマネジメントし、品質管理を本部が行う方式を導入しています。NGP はリユース部品の生産・登録業務を標準化して品質レベルの揃った製品を在庫し、販売面でも統一的な品質保証書を示すことで、お客様に安心して購入いただける体制を確立しています。

ISO9001 認証取得は部品生産登録の一連の流れが国際的な品質規格で管理されていることを意味します。

■ ISO の国際規格で品質管理

※青色表示は ISO9001 管理



リユース部品の品質保証

リユース部品の保証基準

リユース部品の保証基準はエンジン・ミッションの主要機能部品、準主要機能部品、その他部品、外装・内装部品の 4 つのカテゴリーに分け、代品交換や返品に応じる期間や走行距離を定めるとともに、主要機能部品、準主要機能部品については、整備事業者に組み替え工賃も補償対象としています。

品質基準はそれぞれの部品ごとにチェックする項目の共通化を図っています。

■リユース部品の保証

エンジン・ミッション	出荷日より 6 ヶ月間、または走行距離 10,000km
ターボチャージャー・オルタネーター・スロットルボディ・スターター・キャブレター・噴射ポンプ・パワステポンプ・A/C コンプレッサー	出荷日より 3 ヶ月間、または走行距離 3,000km
外 装 部 品	商品確認期間：商品到着後 7 日間
その他・電装・機能部品	出荷日より 1 ヶ月間

■信頼の証「ギャランティシール」

NGP はリユース部品一点一点に品質を保証する「ギャランティシール」を貼布しています。これは厳格な品質点検、機能検査の「NGP 検査基準」を合格した安全な商品の証明であり、また徹底した品質管理で安心な商品を提供する NGP の信頼の証でもあります。

※ NGP はベルマークの協賛会社としてギャランティシールにベルマークを付けています

■リビルト部品の保証

NGP では提携リビルト部品メーカーが定める保証期間にプラスして、3 ヶ月または 6 ヶ月の延長保証（代品保証）を提供しています。

新ブランド「NGP パーツ王」

Amazon でリユース部品販売開始

NGP は総合オンラインストア Amazon.co.jp 内に新ブランド「NGP パーツ王」を出店して、本年 7 月 6 日より販売を開始しました。同サイトには約 100 万点を超えるリユース部品在庫から約 65 万点が出品され、その在庫情報は連動してリアルタイムで更新されます。この Amazon 出店により一般のカーオーナーが初めて NGP リユース部品を直接購入出来ることになります。

注文された NGP リユース部品は、その商品を生産した NGP 組合員から注文主に配送されます。ただしドア、ボンネット、バンパー、エンジンなどの大物部品は個人宅へ配

送できないため、最寄りの配送業者の支店留めとなります。

品質保証については装着後に作動不良が発生し、購入した部品を認証工場・指定工場で資格を持つ整備士が取り付け、その整備士が故障診断し、かつ改造やモータースポーツでの使用など通常使用範囲を逸脱していない場合にのみ返品可能としました。保証受付期間は部品により異なりますが商品到着後１週間から１か月間、保証対象は部品代のみで工賃など付帯費用は対象外になります。

同サイトの出店はリユース部品の販路拡大をめざすとともに、一般のカーオーナーに NGP リユース部品とその高い品質への知名度を高め、自動車リサイクル市場の拡大を図っていきます。

「NGP パーツ王」トップページ。「外装部品」「内装部品」「エンジン / 周辺部品」「電装部品」「駆動系／足回り」「その他」計６つのカテゴリから NGP リユース部品を検索できる

すべての組合員企業が「スキャンツール」を導入しました

NGP は組合員全社にスキャンツールを配付しました。

リサイクル業界でも今後入庫が増えることが確実な次世代自動車、特に HV や EV に搭載されるモーターやバッテリーのチェックについてはスキャンツールが欠かせません。さらに自動ブレーキ等も標準装備となりつつあり、そのチェックについてもスキャンツールは必須条件となります。この先、電子制御部品は益々複雑化されることが予想され、今からリサイクル業界でもスキャンツールへの対応を検討しておかなければ、お客様の求める品質の商品が生産できなくなる恐れがあります。また、エンジンチェックランプが点灯した部品は今まで生産出来ませんでしたが、スキャンツールを導入することで故障の原因を把握し、不具合箇所を取り除くことで、その部品を生産することが出来ることとなり、生産機会の拡大も期待できます。

スキャンツールの全メンバー保有はリユース部品専業団体ではＮＧＰが初となり、さらなる品質の向上にもつながるものと考えております。

本年度（2014 年度）リサイクル部品の生産・販売実績

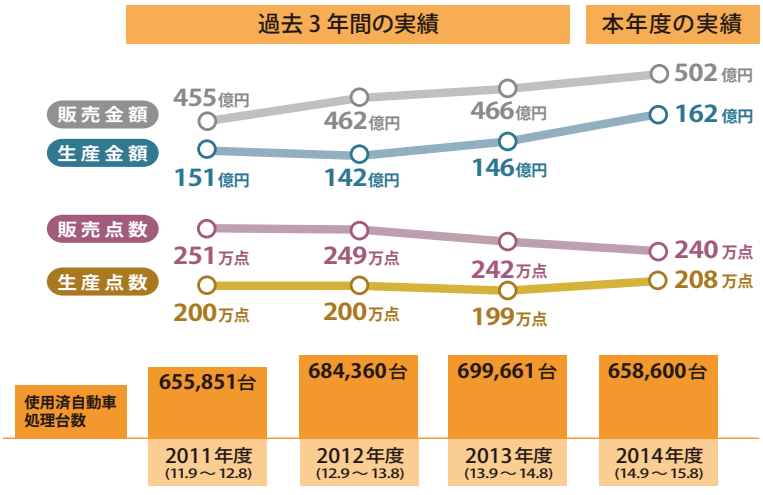
支部	リサイクル部品　生産点数（点）				
	上期	下期	合計	前年	前年比%
北海道	159,872	162,941	322,813	306,073	105.5
東　北	116,571	114,678	231,249	225,860	102.4
北関東	128,339	123,161	251,500	234,217	107.4
南関東	83,775	85,339	169,114	163,345	103.5
北　陸	84,695	84,638	169,333	157,187	107.7
東　海	134,985	133,585	268,570	275,445	97.5
関　西	66,670	65,306	131,976	121,631	108.5
中四国	163,348	170,580	333,928	328,820	101.6
九　州	101,205	100,107	201,312	177,732	113.3
合　計	1,039,460	1,040,335	2,079,795	1,990,310	104.5

支部	リサイクル部品　生産金額（千円）				
	上期	下期	合計	前年	前年比%
北海道	1,131,241	1,167,712	2,298,953	2,103,350	109.3
東　北	764,437	762,198	1,526,635	1,480,222	103.1
北関東	1,119,438	1,176,358	2,295,796	1,963,815	116.9
南関東	630,143	662,974	1,293,117	1,176,012	110.0
北　陸	874,298	886,649	1,760,947	1,511,090	116.5
東　海	1,151,783	1,192,565	2,344,348	2,218,366	105.7
関　西	582,646	577,937	1,160,583	996,103	116.5
中四国	1,076,453	1,117,738	2,194,191	2,034,102	107.9
九　州	675,898	681,074	1,356,972	1,134,134	119.6
合　計	8,006,337	8,225,205	16,231,542	14,617,194	111.0

支部	リサイクル部品　販売点数（点）				
	上期	下期	合計	前年	前年比%
北海道	174,756	173,046	347,802	398,865	87.2
東　北	88,749	89,492	178,241	176,408	101.0
北関東	213,167	219,779	432,946	440,823	98.2
南関東	165,854	174,342	340,196	333,922	101.9
北　陸	73,924	73,705	147,629	144,177	102.4
東　海	169,366	176,866	346,232	337,333	102.6
関　西	69,836	76,989	146,825	139,870	105.0
中四国	120,192	124,475	244,667	242,699	100.8
九　州	102,808	108,279	211,087	209,083	101.0
合　計	1,178,652	1,216,973	2,395,625	2,423,180	98.9

支部	リサイクル部品　販売金額（千円）				
	上期	下期	合計	前年	前年比%
北海道	2,911,347	3,044,873	5,956,220	5,781,334	103.0
東　北	1,917,631	1,967,726	3,885,357	3,759,263	103.4
北関東	4,378,880	4,880,053	9,258,933	8,407,818	110.1
南関東	3,295,008	3,630,799	6,925,807	6,613,680	104.7
北　陸	1,773,574	1,912,275	3,685,849	3,370,469	109.4
東　海	3,540,823	3,941,342	7,482,165	6,672,485	112.1
関　西	1,456,492	1,748,902	3,205,394	2,964,980	108.1
中四国	2,556,104	2,802,856	5,358,960	5,041,977	106.3
九　州	2,077,872	2,396,202	4,474,074	4,034,178	110.9
合　計	23,907,731	26,325,028	50,232,759	46,646,184	107.7

500億達成！



環境への配慮

事業活動での環境負荷の最小化をめざす環境マネジメント活動を着実に推進していきます。

NGP の環境マネジメント

NGP にとって環境マネジメントは、事業の本質に関わる重要課題と認識しています。常にお客様の安心と安全を優先する業務を行い、持続的循環型社会形成に向け、事業活動のあらゆる局面において環境保全の意識を高めるために、以下を基本方針に取り組んでいきます。

❶法令遵守

●環境法規制およびその他の要求事項を遵守します

❷省エネルギー・省資源

●事業活動で消費するエネルギー・水等の使用量を削減し、省エネルギーを推進します●生産業務で使用する梱包材等の省資源・効率化を推進します●事業活動で使用する紙等消耗品の使用量を削減します

❸環境負荷・汚染の低減

●事業活動で発生する廃棄物のリサイクルを推進します●事務用品のグリーン購入を推進します

❹地域との共生

●環境保全活動には積極的に参加して地域社会への貢献と調和に努めます

NGP は環境関連規制を遵守する管理の徹底に努め、環境マネジメントの適切な運用を確認するため省エネルギー推進活動報告による内部報告を定期的に実施しています。

全組合員 ISO14001 取得に向けて
ISO 統合認証（ISO14001・9001）を推進

NGP では各組合員単位で取り組んできた ISO マネジメントシステムを、より効率的で実効性の高い全組合員レベルでの環境マネジメントシステム及び品質マネジメントシステムへ移行させる必要があると考え、統合認証制度を採用し、取得拡大に向けて活動を推進しています。

本年度は組合員 70 社が環境・品質の統合認証を取得し、すでに自社にて認証取得している会社も含めると、グループ全体では 93 社が ISO14001 の認証を取得したこととなります。今後も全組合員企業の認証取得を目指し取り組みを進めます。

■ ISO取得の組合員事業者一覧（2015年10月１日現在）

ISO14001・ISO9001 統合認証取得事業者

㈱辻商会
㈱アシスト・フクダ
㈱ナプロアース
㈱エコブリッジ
㈱栃木パーツ
㈱共伸商会
㈲黒埼部品
㈱茨城オートパーツセンター
㈲田崎商店
㈱拓殖商会
㈲しのぶや　みどり工房
オートパーツ・イワイ（㈲岩井自動車商会）
カースチール㈱
リ・パーツ㈱坂井自動車
㈱マルトシ青木
㈱大橋商店
㈲オートサービス東関
㈲ベストパーツ
㈱杉之間
㈲西山自動車商会
オレンジパーツ平成
㈱アンドーカーパーツ
㈱金沢ヨコイ部品
㈱ハセ川自動車
津田鋼業㈱
㈱リペア
㈲山一商店
㈲メタルオート北陸
㈲名古屋解体メイカイパーツ
㈱コマゼン
㈱テラダパーツ
㈱吉田商会
㈲佐竹自動車部品
㈲小諸パーツセンター
㈲サイトウパーツ
㈱アートパーツ長野
㈲ジーパーツ
㈱ワープ
㈱多田自動車商会
㈱草山パーツ
㈱桜井
吉村エコパーツ
㈱福山セコ
クレストパーツ（㈱中村解体）
㈲山陰ＵＰ販売
㈱佐伯商会
㈱桃太郎部品
㈱オートパーツ幸城
㈲オートパーツ新居浜
岡崎車輌部品㈱
㈲東和
エコテクノ㈱
徳島オートパーツ㈲
㈱エビス
ウエイクパーツ㈲和気商店
㈱山陰エコ・リサイクル
㈲みうら
㈲國寅商店
㈱予洲商事
㈲西川商会
㈲青木興業
島根オートリサイクルセンター
㈱オートリサイクルナカシマ
㈱パーツライン
㈲ユーピー宮崎
㈱アール・トーヨー
㈲イノクチ
㈱エイ・ティ・エム
㈱パーツランド東部
㈲タバタ商会

ISO14001認証取得事業者

㈱マテックＥＬＶ石狩
㈱エルパ北海道
㈱南商会
㈲むつパーツ
㈱福島リパーツ
㈱アイエス総合
㈱青南商事
㈱ユーパーツ
㈱３Ｒ
㈱ＣＲＳ埼玉
メタルリサイクル㈱パーツセンター
㈲ツクダ自動車
ＫＭＩ㈱
㈱堀尾自動車部品
㈱オートパーツ伊地知
㈱グッパー福岡
ＷＡＲＣ西日本オートリサイクル㈱
㈲オートリサイクルナカシマ福岡

●システム賛助会員

丸利伊丹車輌㈱北広島支店
㈱オートパーツ三伸
石上車輌㈱恵庭店
㈱ライラック車輌
九州メタル産業㈱鳥栖リサイクルセンター

環境エコバランスデータ（2014年度）

■IN PUT

資源・エネルギー投入量

		前年比
■原材料（使用済自動車）	658,600台	（94%）
■電力	2,119万kwh	（99%）
■ＬＰＧ	6.0万kg	（104%）
■都市ガス	2,780㎥	（91%）
■ガソリン	468kℓ	（104%）
■灯油	364kℓ	（103%）
■軽油	6,940kℓ	（102%）
■重油	260kℓ	（95%）
■水	9.3万㎥	（101%）

※2014年1月～12月消費量

ＮＧＰ
全国141社
189拠点

使用済自動車の適正処理

リサイクル部品の生産

■OUT PUT

環境負荷物質排出量

		前年比
■販売部品点数	240万点	（99%）
■部品販売点数から算出したCO_2削減量※	48,890t	（97%）
■CO_2排出量（組合事業所エネルギー消費量から）	32,859t	（101%）
■フロンガス	17万kg	（101%）
■廃オイル	328万ℓ	（92%）
■ＬＬＣ	158万ℓ	（92%）
■エアバック	187万個	（107%）
■廃タイヤ	207万本	（95%）
■廃バッテリー	6,164kg	（94%）
■使用済自動車	658,600台	（94%）

※2014年9月～15年8月実績

※一般社団法人日本自動車工業会が1998年に公開している自動車LCAデータをベースに、NGPにて1,500cc車両の部品重量調査結果からCO_2削減効果参考値を算出しております

2014年度NGP組合員事業所エネルギー消費量

支部	電力（kWh）	水（㎥）	LPG（kg）	都市ガス（㎥）	ガソリン（kℓ）	灯油（kℓ）	軽油（kℓ）	重油（kℓ）
北海道	921,315	4,831	885	0	25	137	558	0
東北	8,083,209	16,301	26,881	98	148	109	1,486	0
北関東	5,196,425	15,291	5,697	1,643	75	25	1,061	49
南関東	740,158	8,459	5,113	458	51	10	291	10
北陸	888,021	5,658	787	0	10	24	729	0
東海	1,444,984	14,422	5,697	286	46	18	389	0
関西	923,067	6,198	1,264	268	22	8	710	52
中四国	1,973,278	15,798	9,726	26	50	25	1,108	149
九州	1,024,337	6,472	4,021	0	41	7	606	0
合計	**21,194,794**	**93,430**	**60,072**	**2,780**	**468**	**364**	**6,939**	**260**
昨年度合計	21,358,928	92,172	57,964	3,047	450	354	6,802	273
CO_2排出量（kg）	**11,763,111**	**33,635**	**180,636**	**5,782**	**1,085,651**	**907,246**	**18,179,490**	**703,923**
昨年度合計	11,854,205	33,182	174,297	6,338	1,044,794	881,782	17,820,626	738,692
CO_2排出量合計	**32,859t**							
昨年度合計	32,554t							

※2014年1月～12月

リターナブル梱包材による物流の環境貢献

繰り返し使用するリターナブルの開発・普及

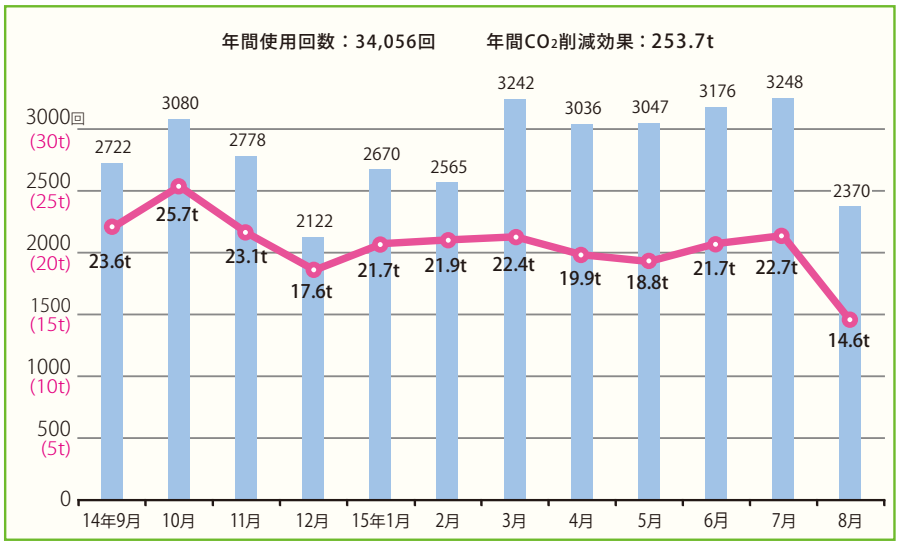
NGP はリサイクル部品活用の一層の環境への貢献をめざし、輸送で使い捨ての梱包用段ボールなどの節約に供するリターナブル梱包材を研究開発して、2009 年 4 月より「ドア用」「フェンダー用」の運用を開始しています。

同年 11 月には環境省・経産省による第 11 回グリーン購入に関わる先進事例の評価表彰制度の「グリーン購入大賞・優秀賞」を受賞。2011 年 2 月に「バンパー用」を、さらに 2013 年 5 月は「エンジン用」を追加し、運用しています。

中古部品梱包資材のリターナブル化は不特定・不安定な物流環境で、以前から開発はもとより定着を危惧する意見も多く、業界でも課題が多すぎると言われていましたが、NGP の開発したリターナブル梱包材は段ボールを節約し、かつ安全で迅速・低コストな梱包が出来ると好評で、支持が広がっています。また多くのお客様のご理解と多大なご協力で使用頻度も高く、安定的に活用され、ここ数年の年間使用回数も 3 万回を超えています。

リターナブル梱包材の普及・拡大は環境貢献につながり、使用回数に比例する CO_2 削減にますます期待ができます。今後も改良と新たな梱包材の研究開発・運用・普及拡大などに取り組んでいきます。

■ 2014 年度リターナブル梱包材使用回数と CO_2 削減効果



※リターナブル梱包材利用に伴う削減効果は NGP 協同組合独自の CO_2 排出量削減の取組みです
段ボールに代えて専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しています

ドア・フェンダー用（荷姿）

ドアー折畳・返却時荷姿

エンジン固定状態

バンパー小【軽自動車用】（荷姿）

バンパー大【普通車用】（荷姿）

エンジンパレット
（ラチェット固定式）

エンジン（荷姿）

自動車リサイクル部品の環境負荷低減効果の研究

自動車リサイクル部品産学共同研究の中間報告

NGP は富山県立大学、明治大学と共同して産学共同研究会を平成 25 年 5 月よりスタートさせ、自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果についての研究を進めております。

これまでに NGP 組合員各工場の協力を得て実施した部品素材重量調査の他、研究会メンバーによる組合員工場で過去 5 回の部品素材重量調査及び作業観測、累計 25 回に渡る研究会を開催しました。

平成 27 年も両大学から新たな研究員 2 名が参加し、6 月 20 日に第 3 期目となる産学共同研究を開始し、ＮＧＰ組合員、株式会社マルトシ青木（青木勝幸社長、静岡県藤枝市）でキックオフを実施しました。

同日は最初に第 1 期研究会で明治大学大学院・理工学研究科・機械工学専攻・設計システム研究室の岩崎誠和研究員を中心に調査した「自動車リサイクルパーツの環境負荷削減効果」の発表を行いました。この調査結果は 2014 年 8 月 31 日～ 9 月 3 日にチェコ共和国のピルゼンで開催された「ICDES2014 第 3 回設計工学に関する国際会議」でも講演しています。

次に同研究室の高橋颯太研究員を中心に第 2 期研究会で調査した「自動車解体工場調査に基づくリユース部品使用時の環境負荷削減効果」の発表も行いました。

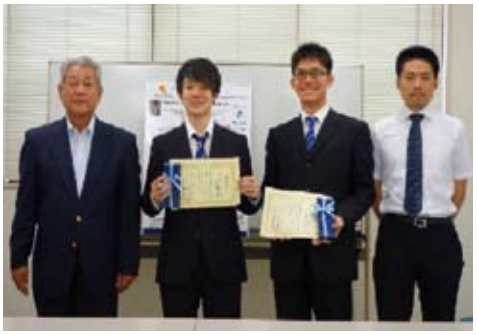
この調査結果は 2014 年 9 月 17 日～ 19 日に徳島大学で開催された「日本機械学会第 24 回設計工学・システム部門講演会」で口頭・ポスター発表を行っています。なお高橋颯太氏は同講演会で「日本機械学会 設計工学・システム部門 D&S コンテスト優秀表彰」を受賞しています。

両名の発表後、NGP 協同組合青木顧問より岩崎及び高橋両研究員に感謝状と記念品が贈呈されました。青木顧問は「リサイクル部品活用による CO_2 排出量削減効果をより正確な数値で算出しようというこの取り組みは、内外より大きな関心を集めています。苦労の多い研究ではありますが、皆さんの英知の結集を引き続きお貸しいただきたく思います」と両名の功績を讃え激励しています。その後同社工場で、リヤコンビネーションランプ 30 種類と追加でヘッドランプ 2 種類の分解素材調査が行われました。

強固な接着剤で各部品が組み合わされたランプ類を分解するのは困難を極めましたが、研究会メンバー全員で力を合わせて一つ一つ丁寧に取り外し、素材ごとに重量を計測していきました。この調査で得られたランプごとの素材別重量は解析ソフトによる CO_2 排出量算出のベースに使用されます。

この産学共同研究の「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果」は、より正確な検証と算出を試み、地球温暖化係数 CO_2 削減数値としての見える化を目的としています。今期はアイテム数を増やし研究成果の一般公開に向け準備を進めています。

平成 26 年 8 月 31 日
ICDES2014（チェコ共和国ピルゼン）での岩崎誠和研究員の講演風景



平成 27 年 6 月 20 日
感謝状と記念品の贈呈　左からＮＧＰ協組・青木顧問、高橋研究員、岩崎研究員、ＮＧＰ技術顧問・藤田先生

平成 26 年 9 月 17 日
第 24 回設計工学・システム部門講演会での高橋颯太研究員の講演風景

リヤコンビネーションランプ 30 種類と追加でヘッドランプ 2 種類の分解素材調査風景

地域社会貢献の推進

社会とともに「健やかな未来」を語り合い、私たちに何ができるか考えています。

日本最大級の環境展 エコプロダクツ 2014

自動車リサイクルの仕組みとリサイクル部品を活用する自動車修理を PR

壁一面に描かれた「廃車王」と「エコひろば」のキャラクター、元気が出る鮮やかなオレンジ色のエコバッグを持ったスタッフが来場者をお出迎え

NGP は 2014 年 12 月 11 ～ 13 日までの 3 日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催された " 環境 " をテーマに した日本最大級の展示会「エコプロダクツ 2014」に出展しました。

ＮＧＰブースは東 5 ホー ルの入口近くという好位置に恵まれ、人の流れも途切れることなく、例年より多くの方々がブースを訪れました。正面受付の両サイドは 2013 年末に一新された廃車買い取りサイト「廃車王」（http://www.haishaou.com/）のエジプト・ファラオをモチーフにしたキャラクターと NGP のリサイクル部品を積極的に取り扱う整備･修理工場をカーオーナーに紹介する「NGP エコひろば」（http://www.eco-hiroba.net/）のキャラクター、Ｄr . エコを壁一面に大きく描き、注目を集めました。

スタッフは「廃車王」ロゴ入りジャンパーを着てチラシを入れたオレンジ色のエコバッグを配り、多くの来場者を出迎えました。メインステージではプロのナレーターによる専門的ながらも理解しやすい説明で、環境にやさしい自動車リサイクル部品に関する 紙芝居を実演しました。

壁面全体を使って描写された、廃車買い取りからリサイクル部品生産・販売、修理完了までの説明パネルは、小中学生から社会人まで、たくさんの人が興味深く眺めておられました。

またこれら展示に加え、自動車のリユース部品展示コーナーでは新品部品とリユース部品の価格、CO_2 削減量を明記して " 環境にもお財布にもやさしい " ことが一目でわかるように工夫し、NGP リサイクル部品に高い関心を持っていただけました。

NGP の藤原庸正・環境委員長は「出展回数を重ねるごとに、他のブースを参考にしながら、レイアウトや展示方法を改良し続けてきましたが、今回は特に廃車王のキャラクターが目に留まるように大胆な表現をしたことで、多くの来場者から廃車や修理に関するご相談をいただきました。今後もさまざまなカーオーナーにより広く廃車王の存在を認知していただくことで、廃車の買取りを強化し、自動車リサイクル・リサイクル部品の活用のＰＲをしていきます。

さらに、エコひろば登録工場の皆様とリサイクル部品を活用するメリットもアピールしていきます」と、エコプロダクツに出展する意義を話しています。

メインステージではリサイクル部品の生産工程を詳しく紹介する紙芝居をプロのナレーターがわかりやすく解説した

「宝もの探し」名物になったエンブレムコーナー

東京都足立区
「地球環境フェア2015」に出展

地域密着型イベントへの参加を通じ リサイクル部品を PR

NGP は 5 月 30・31 日に東京都足立区役所で開催された「地球環境 フェア 2015」に出展しました。これは 2013 年 12 月の「エコプロダクツ 2013」で、NGPの「環境にやさしい自動車リサイクル部品」に関する紙芝居を見た足立区環境部環境政策課の職員から、同フェアへの出展要請を受けたもので、昨年につづき 2 回目の出展になります。

今回の環境フェアでは特設のミニステー ジで同様の紙芝居が披露され、主婦や小中学生を中心とした大勢の来場客を集めることができました。また同時に廃車買い取りサービス「廃車王」や FM TOKYO はじめ全国各地の FM 局で放送されている「名車ソムリエ supported by NGP 廃車王」などを PR しました。

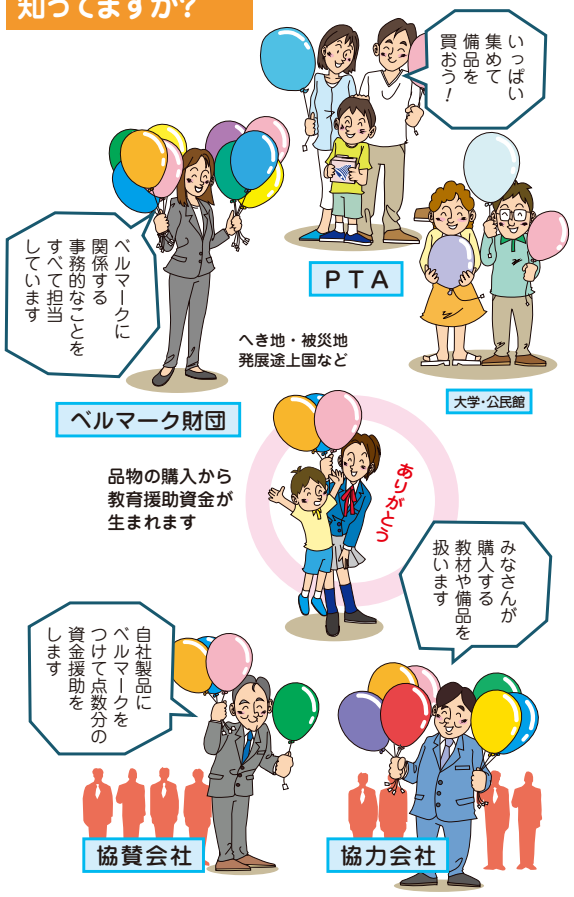
NGP の平野泰雄・総務広報副委員長は「地道な活動ですが、地域密着型のイベントが足立区以外にもあれば、今後も積極的に出展し、エンドユーザーと直接コミュニケーションを取ることで自動車リサイクルに子供にも興味を持ってもらい、次の世代につなげていきたい。」と話しています。

NGPのベルマーク運動

NGPリユース部品で子供たちを応援します

NGP は 2011 年 3 月の東日本大震災の被災救援活動に参加したことを機会として、被災地の学校支援からベルマーク運動に賛同し、2012 年 4 月より協賛会社として運動に参加しています。自動車修理時の「リユース部品」にベルマークをつけ、地域社会の子供たちの学校教育支援と自動車リサイクルの環境保護啓蒙活動に取り組んでいます。
NGP はこれからもベルマークを通じて、子供たちの教育環境づくりに協力していきます。

ベルマーク運動を知ってますか?



あなたの愛が鳴り響きます ベルマークからありがとう

図書館で早速掃除機を使って清掃しています。

NGP はベルマークの協賛会社として、NGP リユース部品の品質保証ツール、ギャランティシール(写真右)にベルマーク(1 枚 5 円)をつけて、ベルマーク運動を応援しています。